

# 益田圏域医療介護連携推進のための多職種研修会 アンケート集計

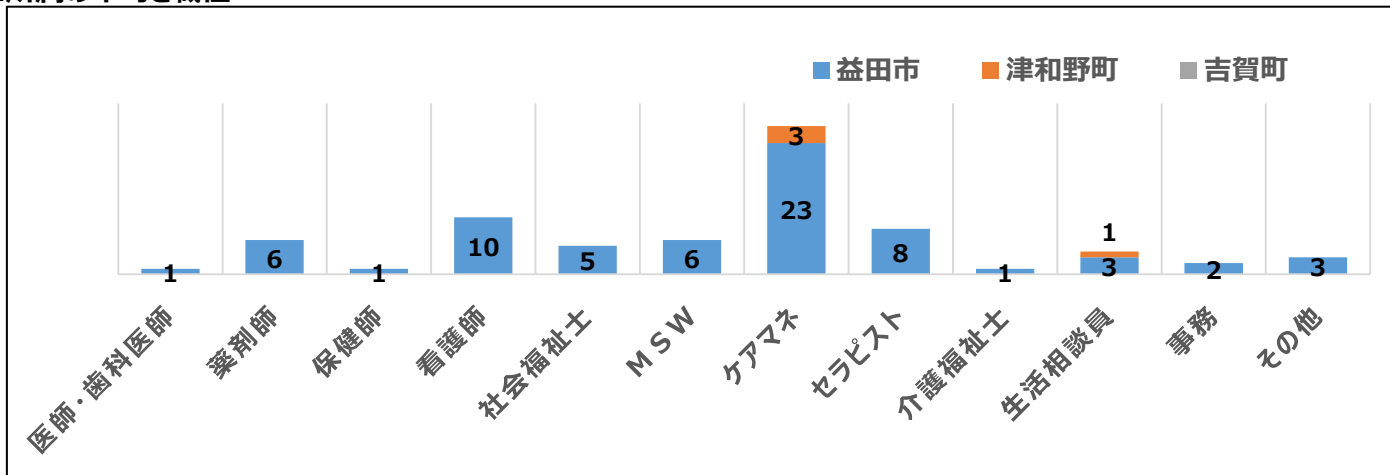
開催日：平成30年12月13日（木） 19:00~21:00

開催場所：益田赤十字病院 講堂

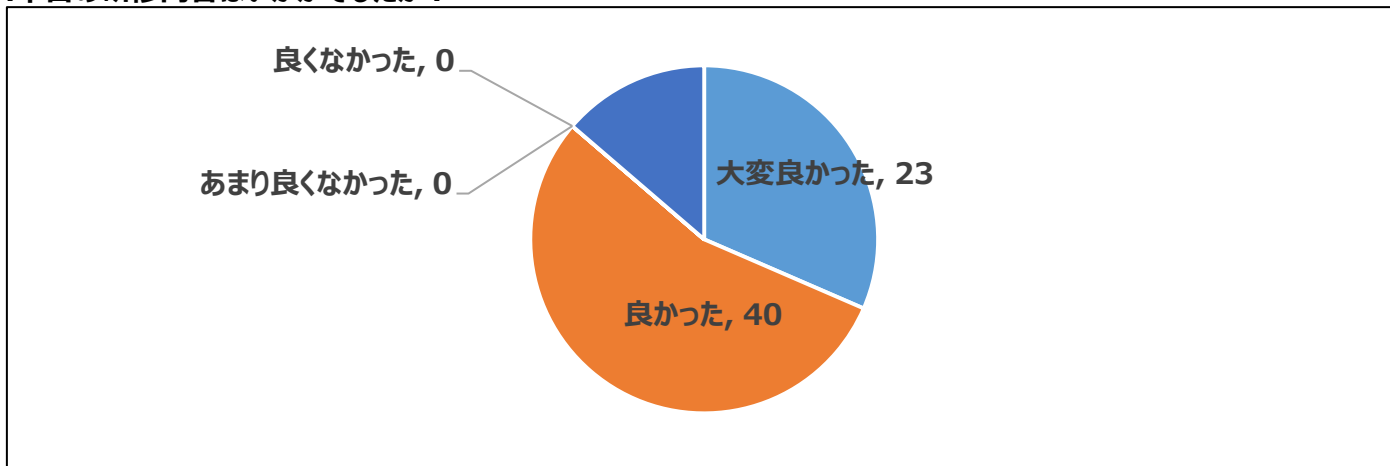
参加者数：97名

回収率：75.3%（73名）

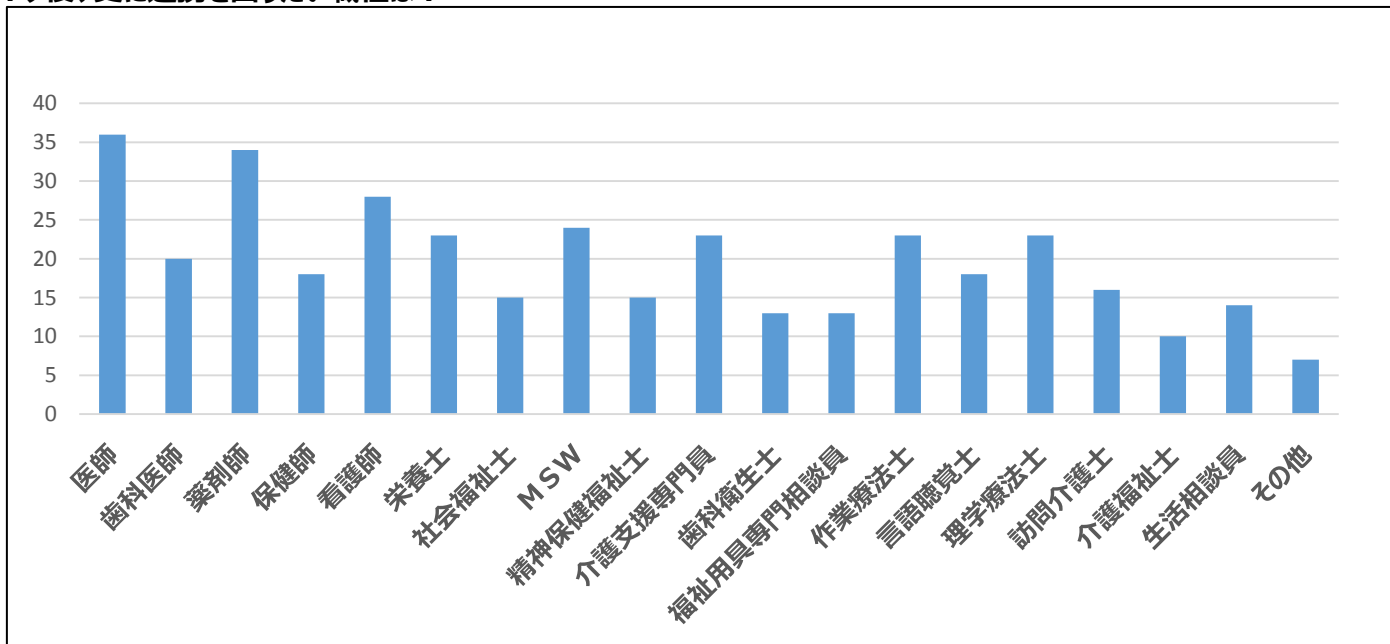
## 1.所属の市町と職種



## 2.本日の研修内容はいかがでしたか？



## 3.今後、更に連携を図りたい職種は？



#### 4. 本日の研修で、一番の学びや心に残ったことは？

- ・困ったらケアマネジャーに頼れば情報を得ることが出来る (2名)
- ・「自己覚知」利用者の力を信じ、生かし、らしさを大切にしたいサービスの提供
- ・ケアマネさんはAさんの(Aさん家族) 通訳者だと思った
- ・家族状況は、家族背景や思いも大切にということ
- ・自施設のゴールや目標だけでなく、その先まで考えた支援が必要であることを念頭においておく必要がある
- ・フィードバックについて、情報を貰ったら丁寧に情報を返す (3名)
- ・ケアマネさんの資料、自分の仕事にとっても大切なことばかりでした。改めてお話を聞いて良かったです
- ・積極的に多職種の方たちと連携をとっていきたい
- ・情報のキャッチボール (7名)
- ・ケアマネに相談や声を掛けて欲しいと思っていただけたことが理解できた。嬉しいことである
- ・医療(病院、医師)の方々の声が聞けたこと
- ・退院後の生活への移行がスムーズにつなげられる支援の大切さを改めて感じた
- ・利用者・家族の生活状況、思い、心身の状況などをしっかり把握し、入院時、又他職種にしっかり具体的な言葉で伝えていきたい
- ・専門性を理解して、情報共有、連携をしていく必要があると感じた
- ・顔見知りになること
- ・ケアマネに対し、みなさん思ったよりあたたかい見方をしてくださっていた
- ・顔の見える関係作りには、やはりこういう研修が良いと思った。お互いの職種の仕事もよくわかった
- ・いろんな職種がいろんな思いを持って仕事をしているので、できるだけ情報共有し、すり合わせができればと思う
- ・情報を貰うばかりでなく、きちんとフィードバックすることを忘れないようにしたい
- ・どの職種の方も在宅の視点を持つ大切さを思っておられると知り、嬉しく頼もしく思った
- ・ケアマネが多職種や家族から頼られているのがわかった
- ・ケアマネの役割、業務、存在について思った以上に知られていて、良いと気づいた
- ・もう少しディスカッションを聞きたかったなあと思った
- ・倫理、人格に留意する。本人の意向を大切にしていきたい
- ・何のために連携するのか、それは利用者の幸福のためだと気づいた。遠慮なく連携しないといけない
- ・グループワークでの多職種でのワークが楽しかった。それぞれの職種の思いが聞けた
- ・医療機関との情報共有の方法や内容について理解できた
- ・ケアプラン作成時から、本人を支援する援助を“チーム”としてとらえること
- ・IPEなどあるが多職種連携の要は対話ですね
- ・ケアマネさんがケアプランでほぼできることを短期目標として、達成感、自信をつけるといわれていたこと
- ・ケアマネさんの意見を直接聞けたことが良かった。ケアマネさんもさまざま
- ・多職種の共有したい情報が何なのか聞けただけでも、今後の支援方法を変えていく必要があると考えさせられた
- ・ケアマネとして求められることが多くなっているということ
- ・ケアマネさんの思いや顔を見てはなすことができて良かった
- ・他の職種からの意見が参考になった
- ・情報共有の重要性、各々の専門性からみた苦労
- ・ケアマネさんを中心に互いに情報交換や人とのつながりが大事
- ・情報のキャッチボールのようにお互いに言い合っていく必要がある
- ・ケアマネさんが利用者家族に一番近いところにおいて情報を沢山もっておられること
- ・自尊心の低い利用者の心の声を拾う
- ・医療関係者の方々と直接話が出来た
- ・色々な職種の方と話が出来た
- ・ケアマネとのつながり、ケアマネがご利用者様の大きな理解者であると感じた
- ・在宅ケアマネジャーの様子が理解できた。ありがとうございます
- ・ケアマネジャーさんと各機関との連携や情報共有の大切さが理解できた。利用者の立場に立って献身的に働いておられることに感銘を受けた

## 5. 今後、研修で学びたいテーマ、内容は何ですか？

- ・ 地域クリニックの在宅医療へのかかわり (2名)
- ・ 色々な職種にフォーカスした本日のような研修は知らないことを知ることができ、大変勉強になります。  
この後も他の職種で継続して開催希望です
- ・ 例題を使ったグループディスカッション
- ・ ACPについて地域への普及方法
- ・ 住民参加型の研修・多職種研修に院内の医師、看護師の参加がないのが問題だと感じる  
・・・(グループワークで一番話題に上がっていた)何か、興味をひくものがあれば・・・ACPとか？
- ・ 入退院連携の事例、退院時に医療度が高くカンファレンスや連携が必要だったケース、成功例、失敗例など、  
如何すればよかったか？病院やMSW、CMそれぞれが考える場面で話し合える
- ・ ケアマネに対して、医療に関する勉強会をお願いします (2名)
- ・ 医療・介護現場におけるリスクマネジメントとその現状
- ・ 分野に焦点を当てて、パネルディスカッションがあれば理解しやすいと思った。  
例えば、「急性期の立場から」MSW、医師、ケアマネの報告があると良かった
- ・ リハビリ職員との関わり方。退院において自宅での生活環境を整備するためにどのように関わったらよいか勉強したい
- ・ 在宅、医療、地域の連携をどうとり、生活を支援していくか
- ・ 災害時の連携
- ・ 医師からみた介護、福祉について話を聞いてみたい
- ・ このまま職種の理解が進むのなら、社会福祉士にも焦点を当ててください
- ・ セラピストの意見が聞けたことが学びになった
- ・ かかりつけの医師と交流を深められたらいいと思う
- ・ 今日のような意見交換も楽しいと思った
- ・ 各々の立場でこんな情報が欲しいといったアンケート結果とか
- ・ 困難ケースの相談、ここに聞けばわかるみたいな
- ・ ケアマネさんが困っている難しいケースを多職種で議論する！！ (2名)
- ・ 情報共有、キャッチボールのうまく言った事例紹介 (在宅→入院→在宅)
- ・ ターミナルケアのあり方
- ・ 医療と介護の連携。歯科、精神科、理学療法との連携について学びたい
- ・ 管理栄養士、栄養面での関わり方について知りたい。(介護の現場で)
- ・ 地域包括ケアシステム

## 6. その他

- ・ ありがとうございました (2名)
- ・ 楽しかったです
- ・ お互いの理解が大切、益田圏域の医療を守るためにはという視点が欲しい
- ・ 障害者が高齢者になったとき、介護保険制度への移行がなかなかスムーズにいかない。  
障害、総合支援法の勉強会などもしていきたい
- ・ ケアマネのアセスメント力が大切・・・どのような情報を病院に伝えることが退院に向けた支援や病院側の調整が  
うまくいくのかを見据えた情報提供ができるところがポイントか
- ・ 医師会、日赤の病棟、外来Nsの姿が見えなかった。残念・・・
- ・ 皆さんの発表やパネルディスカッションの時間が短くなんだか勿体ないなと思った。医療介護連携の研修に  
病棟看護師の参加があるといいのになあと思う
- ・ 準備等大変だったと思いますが、お疲れ様でした。パネルディスカッション、もう少し長い時間が欲しかったですね
- ・ 時間が不足している。不消化になる方もおられると思うので、工夫が必要と思う
- ・ 様々な立場の方が一同に会して話し合いを行うことで、相互理解につながり、地域の包括ケアのレベル向上に  
寄与すると考えられる。このような研修会を今後定期的で開催して欲しい
- ・ 今後も津和野町にも研修のお知らせをお願いします。こちらもお伝えます。